

## アルコール飲料



# 大阪府 カタシモワインフード(株)

## 『ワインをシンガポール、タイ、インドネシア等へ』

### 【主な品目】

ワイン、ブランデー、ジュース

### 【主な輸出先国・地域】

シンガポール、タイ、インドネシア、台湾

### 【輸出取組の概要】

- ◆ ぶどう栽培のさかんな大阪府柏原市で100年以上続くワイナリー
- ◆ 5年前からワインの輸出に取り組む。自社でバイヤーを見つけシンガポールほかへ
- ◆ ワイナリー周辺の美しい景観を利用したインバウンド効果などにも取り組む

### 【輸出実績】(平成28年度より輸出開始)

	輸出額(万円)	出荷時期
平成30年度	366	通年
平成29年度	55	
平成28年度	66	

### 【効果があった取組】

ジェトロなど関係機関から支援、協力をいただき自社で輸出業務を実施。

### 【取り組む際に生じた課題】

- ・ 海外で認められるには独自のワイン生産、ぶどう栽培が必要。また原料となる大阪産ぶどうの生産量も不足。ワインに適した新たな品種の開発が必要。
- ・ 耕作放棄地が増加する中、周辺の美しい景観を利用したインバウンドなど観光への取組も必要。
- ・ 輸出にかかる手続きなど業務が煩雑かつ困難。

### 【生じた課題への対応】

- ・ 大阪府が設立した「ぶどうワインラボ」と連携して、醸造用ぶどうの育種と独自のワイン作りに取り組む。
- ・ 海外のコンテスト等で受賞できるような品種・技術の獲得を目指し輸出拡大につなげる。
- ・ 自社が中心となり、大阪ワイナリー協会、関西ワイナリー協会を設立し、インバウンドをはじめとした様々な課題にも取り組む。
- ・ ジェトロなど関係機関から支援、協力をいただき自社で輸出業務を実施。

### 【今後の課題・展望】

- ・ 国ごとに規制が細かく、ワインやブランデーなど酒類の輸出が可能になる条件について、情報とともに整理が必要。
- ・ 国のグローバル産地づくり推進事業にも参画し、行政とも連携して大阪産ワインの輸出拡大を図る。

【活用した支援・施策】令和元年度グローバル産地づくり推進事業

【ウェブサイト】 <http://www.kashiwara-wine.com/>

【連絡先】 担当者名: 高井 TEL: 072-971-6334



100年以上続くワイナリー



ワイン用ぶどう畑



デラウェアと製造された  
ワイン&ブランデー